

新田荘歴史資料館企画展

新田猫

—新田岩松家の絵画—



新田源道純筆
印章

2022

7/17 ~ 10/10

日

月

スポーツの日

講演会「新田猫のふるさと
—猫絵と養蚕の関わり—」

日時／9月11日(日) 午後1時30分～

講師／板橋春夫先生(元日本工業大学教授)

定員／50名(8月16日から電話で申込)

会場／新田荘歴史資料館 学習室

プラ板でストラップを作ろう

日時／学校の夏休み期間中の土・日・休日

午前9時30分～午後4時

対象／小学生以下の子ども

定員／各日先着50人

会場／新田荘歴史資料館 学習室



太田市立

新田荘歴史資料館

開館時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日／月曜日(月曜日が休日の場合は火曜日)・年末年始

入館料／一般 200円(20名以上の団体は160円)中学生以下無料

〒370-0426 群馬県太田市世良田町3113-9 TEL.0276-52-2215



新田猫

—新田岩松家の絵画—

「新田猫」とは、江戸時代に太田市下田島町に大きな屋敷を構えていた「交代寄合」格で禄高120石の旗本、新田岩松氏の歴代当主が4代にわたって描いた猫絵です。

養蚕が盛んであった上州・武州・信州では、「新田猫」は蚕の大敵であったネズミを除ける効果があるとされ、蚕室などに貼られ、蚕の神様として信仰されていました。

猫絵は、新田岩松氏だけが描いただけでなく、浮世絵師や江戸市中を売り歩く僧侶などもいましたが、この中で、新田岩松氏の猫絵は、領主一般が持つ呪術者のな性格に加え、徳川氏が先祖とした新田氏という特別な血筋を背景に、特に人気を博し、多くの猫絵が描かれました。

今回の企画展では、新田荘歴史資料館所蔵の新田猫絵を中心に、岩松義寄の先代の岩松孝純を加えて、各代の彩色された絵画と鍾馗像各1点を公開いたします。



岩松温純画



岩松徳純画



岩松道純筆



岩松俊純筆



新田貞康画

- あつすみ 岩松温純 後、義寄 元文3年(1738)～寛政10年(1798)
- よしずみ 岩松徳純 安永6年(1777)～文政8年(1825)
- みちずみ 岩松道純 寛政9年(1797)～嘉永7年(1854)
- としずみ 岩松俊純 後、新田俊純 男爵 文政12年(1829)～明治27年(1894)
- さだやす 新田貞康 由良系新田氏 新田貞観の義子